

## 第10章 環境分析センター

### 1 概況

環境分析センターは、昭和46年10月に公害の調査分析機関として設置され、平成8年3月には現所在地に移転新築している。

市の環境調査・分析を行う施設として、環境調査、事業所排水等の分析を始め下水道・清掃施設関係の分析も行っている。

### 2 分析の実施状況

令和3年度は1,743検体、12,273項目の分析を実施した。内訳を表10-1～6に示す。

表 10-1 大気関係区分別検体数・項目数

区分	検体の種類		検体数	項目数
環境・事業所監視	環境監視	酸性雨自動採取	44	88
		揮発性有機化合物	16	80
		大気自動測定	24	396
	事業所監視	排水臭気	12	48
		敷地境界臭気	36	252
小計		132	864	
下水道関係施設	浄化センター	排水臭気	3	12
		敷地境界・発生源臭気	38	258
	小計		41	270
清掃施設	し尿処理場	排水臭気	1	4
		敷地境界・発生源臭気	11	54
	小計		12	58
調査研究	作業環境測定		24	330
合計			209	1,522

表 10-2 大気関係種類別項目数

種類	項目数	構成比 (%)
臭気*1	628	41.2
大気汚染物質*2	564	37.1
調査研究	330	21.7
合計	1,522	100.0

\* 1 臭気：悪臭物質（発生源、敷地境界、排水）、臭気指数

\* 2 大気汚染物質：揮発性有機化合物、大気自動測定(SO<sub>2</sub>等)、酸性雨

表 10-3 水質関係区分別検体数・項目数

区分	検体の種類		検体数	項目数
環境・事業所監視	環境監視	河川水	80	1,400
		その他	122	851
	事業所監視	排水等	109	966
	小計		311	3,217
下水道関係施設	除害施設監視	排水等	12	62
	浄化センター	排水等	382	3,752
	小計		394	3,814
清掃施設	し尿処理場	排水等	25	156
	ゴミ処理場	排水等	76	650
	最終処分場	排水等	121	965
	小計		222	1,771
その他施設	調理場	排水等	15	116
	プール施設	プール水	13	61
	上水施設	排水等	9	65
	環境影響調査	河川水等	37	761
	小計		74	1,003
受託分析	事業所排水等		11	53
調査研究	排水調査等		305	640
合計			1,317	10,498

表 10-4 水質関係分類別項目数

分類	項目数	構成比 (%)
一般項目* <sup>1</sup>	969	9.2
生活環境項目* <sup>2</sup>	4,067	38.7
健康項目* <sup>3</sup>	2,550	24.3
特殊項目* <sup>4</sup>	386	3.7
その他の項目* <sup>5</sup>	2,526	24.1
合計	10,498	100.0

\* 1 一般項目：水温、外観、臭気、透視度等

\* 2 生活環境項目：pH、BOD、COD、浮遊物質、亜鉛、窒素、リン等

\* 3 健康項目：シアン、カドミウム、鉛、ひ素、農薬（シマジン、チオベンカルブ）、揮発性有機化合物（四塩化炭素等）等

\* 4 特殊項目：フェノール類、銅、溶解性鉄等

\* 5 その他の項目：蒸発残留物、ゴルフ場農薬（イソキサチオン等）、塩化物イオン等

表 10-5 騒音関係区分別検体数・項目数

区分	検体数	構成比(%)	項目数	構成比(%)
航空機騒音	28	75.7	28	75.7
環境騒音	9	24.3	9	24.3
合計	37	100.0	37	100.0

表 10-6 地盤沈下・地下水位区分別検体数・項目数

区分	検体数	構成比(%)	項目数	構成比(%)
地盤沈下	120	66.7	120	55.6
地下水位	60	33.3	96	44.4
合計	180	100.0	216	100.0

### 3 施設開放等

#### (1) 親子おもしろ実験室

環境月間(6月)と小学校の夏季休暇に、環境教育の一環として環境分析センターの施設を開放し、小学校高学年とその保護者を対象とした科学実験や分析体験を通じた環境啓発を実施している。

- ・開催日 令和3年8月4日(午前・午後の二部制)
- \* 6月は中止とした
- ・参加者 計12組29名

#### (2) エコワールド

春日井まつりに出展し、科学実験を通じた環境啓発を実施している。

- ・開催日 令和3年度は実施なし

#### (3) 職場体験学習

中学生の職場体験学習として河川水の分析や騒音測定を実施している。

- ・中学校 令和3年度は実施なし

### 4 調査研究

令和3年度は、分析精度管理として統一精度管理試験を実施した。また、河川水質調査における検出項目についての追加調査及び労働安全衛生法に基づく作業環境測定を調査研究と位置づけて実施した。